

「わっかでつながる」

青木 穂花 7歳

No82 福岡市 [カテゴリー] 植物 [観察場所] 庭のプランター

[感想] 娘と参加。粘土、つぶつぶしているね、と娘。

食べ物でできてるんだって、と会話が広がる。なんで食べ物で？と疑問がふくらむ娘。それに対して、イベントの趣旨を分かりやすく説明したく、思考を巡らせる。考える時間、言葉にする時間、どのくらいのことを感じたのかは分からないが、一緒に過ごした時間は貴重なものとなった。

そんな会話を楽しみながら、私は、大好きな多肉を作る。娘も思いつくままに、犬、鏡餅、ネームプレートを作ったあと、私も多肉を作る！と。

多肉の色を表現するのは難しく、混色に夢中に。家にある多肉を見ながら、その緑を目指す。子どもがつくる粘土だからね、と甘く見ていたが、多肉植物のプランターに作品を配置して驚き。娘の作る色が他の多肉植物になじむ。大人の私が作る色よりもびたり。娘の見てる世界、感じ方、表現。つい、口出ししがちな毎日さえも見直すきっかけになった。

その後、雨に打たれ、じわじわと溶けて形を崩していく粘土。このあとは植物たちの栄養になるのかな？そんな会話が親子をつなぐ。持続可能ないろんな輪っかがみえた。

[その他コメント] 忙しい毎日、後回しにしがちな子どもとの時間は貴重なものでした。素敵な時間をありがとうございました。

